



Title	手伝うことの依頼に対する「断り」の日タイ対照研究 : 同等の相手からの重い依頼の場面の分析
Author(s)	プーンウォンプラサート, タニット
Citation	日本語・日本文化研究. 2018, 28, p. 118-128
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71153
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

手伝うことの依頼に対する「断り」の日タイ対照研究

—同等の相手からの重い依頼の場面の分析—

プーンウォンプラサート タニット

1. はじめに

我々が他者とコミュニケーションを円滑に行うには、人間関係・相手の社会的地位などの社会文化的コンテクストに配慮し、適切な表現を使用しなければならない。特に、本稿で扱う「断り」は相手の意向に逆らうことなので、良好な人間関係を損ねないように表現に十分に気をつけることが重要になる。ネウストプニー(1991)は、コミュニケーションは、言語と文化という枠組みからなり、言語能力だけでなく社会文化能力と社会言語能力も重要だと述べているが、異なる文化的背景の人たちによるコミュニケーション活動においては、文化の相違による様々な誤解が生じる可能性がある(石井 1997)。そのため、「断り」を日本語教育で扱う際には文化の相違にも留意しながら指導する必要がある。

断りに関する先行研究では「提案」「勧誘」「物の貸し借りの依頼」に着目した対照研究(レンティーラ 2004、伊藤 2009、成田・成田 2010 等)は数多く見られるが、「手伝ってほしい」という依頼に対する断りを扱った日タイ対照研究はまだなされていない。また、量的分析・質的分析手法をとった研究は管見の限り少数に留まっている。

そこで、本稿では「手伝うことの依頼」に対する断り、特に重い依頼の場面を取り上げ、ロールプレイデータを用いて、日本語母語話者およびタイ語母語話者が用いる意味公式(Beebe, Takahashi and Uliss-Weltz 1990)の違いを明らかにすることを目的とする。

2. 先行研究

日本語とタイ語における依頼と断りを考察した主要な先行研究として、堀江(1995)、レンティーラ(2004)、伊藤(2009)、成田・成田(2010)の研究が挙げられる。

依頼会話に関する日タイ対照研究を行った堀江(1995)によると、日本語の依頼表現は、定型表現でも、丁寧さのバリエーションが豊富であり、状況や依頼の内容、あるいは相手との関係に応じた適切な表現が要求される。一方、タイ社会における依頼表現は親しい間柄であれば、面倒な前置き抜きにすぐ本題に入るため、日本人にすれば、無礼だと感じられるが、目上の人には依頼する時は、タイ人も日本人同様、前置きなどの間接的な表現を使って都合を丁寧に聞く。このような文化・価値観の違いは双方のコミュニケーションのスタイルに大きく影響を与え、誤解の原因になりやすいと述べられている。

提案に対する断りに関して調査を行ったレンティーラ(2004)は、ロールプレイデータを用い、日本語・タイ語母語話者とタイ人日本語学習者が用いる意味公式の出現順序パターンに焦点を当てて分析を行っている。結果として、日本語もタイ語も{理由}が多用され、タイ人は親疎関係を、日本人は上下関係を考慮して断り方を選択すると報告している。伊藤(2009)は、ロールプレイデータを用いて、ジャワ語、インドネシア語、マレーシア語、タイ語の母語話者を対象に、勧誘に対する断りを発話の順序の観点から分析し、タイ語は

相手との親疎関係に関わりなく、目上の相手の場合は{理由}+{詫び}、同等の相手の場合は{結論}+{理由}の順に発言すると述べている。成田・成田(2010)は、ロールプレイデータを用いて「申し出に対する断り」表現における意味公式の使用の違いを研究し、{理由}が最も多いことは日タイ両者に共通しているが、日タイの違いとして、日本語が直接的であるのに対してタイ語は間接的であるということを指摘している。

先行研究においては、「手伝うことの依頼」に対する断りにおいて、日本語・タイ語母語話者が用いる意味公式の違いに焦点を置いたものは管見の限りまだない。「手伝うことの依頼」は恩恵授受関係のある言語行動であり、依頼に対して断りがなされた場合は、依頼者を失望させたり、困らせたりする可能性がある。また、依頼を断った人は思いやりがない人だと判断されるかもしれない。このように「手伝うことの依頼」に対する断りは人間関係に強い影響を与える可能性があることから、研究する必要性があると考える。

3. 研究方法

3.1 調査方法

調査の手段としては、大量のデータを収集することにより特徴や傾向を観察することができる談話完成テスト(DCT)を使用した。場面設定においては、Brown and Levinson(1987)のポライトネス理論を参考にし、「親疎関係」「上下関係」「負担の度合い」の3つの要因に基づき、8つの場面を設定した。そのうち、本稿は自分と同等の立場の人からの重い依頼に絞り、分析する。場面設定は親しい友達、あるいは2~3回程度挨拶したことのある同級生に、英語の文章を日本語/タイ語に翻訳することを頼まれるという重い依頼を設定した。DCTは日本語版とタイ語版があり、以下は日本語母語話者向けのDCTである。

場面:あなたの友達/同級生は英語のレポートを書いています。提出の締め切りは来週です。ですが、友達/同級生は英語があまりできないので、英語がよくできるあなたに3~4枚ぐらいの英語の文章を日本語に翻訳してくれないかと依頼してきました。来週、あなたは中間テストがあります。テスト勉強しなければなりません。その時、あなたはどう言いますか。

1.依頼者：親しい友達

友達：ねえねえ、ちょっと手伝ってほしいことがあるんだけど。
あなた：何？
友達：実は、今英語のレポートを書いていて…資料は全部集めたんだけど、
英語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか本当に心配で…。
あなた：それは大変だよね。
友達：今日、時間があれば、いつしょに英語の文章を日本語に翻訳してほしいなあとと思って。
3~4枚ぐらいなんだけど、何とかお願いできないかなあ？
あなた：

2.依頼者：2~3回程度挨拶したことのある同級生

同級生：すみません、ちょっと手伝ってもらいたいことがあるんですが。
あなた：何ですか？
同級生：実は、今英語のレポートを書いているんですが…資料は全部集めたんだけど、
英語があまりできないから、来週までに完成できるかどうか本当に心配で…。
あなた：それは大変ですね。
同級生：今日、時間があれば、いつしょに英語の文章を日本語に翻訳してほしいんですけど、
3~4枚ぐらいなんですが、何とかお願いできないでしょうか？
あなた：

調査協力者は日本語母語話者¹(以下「JJ」)、タイ語母語話者²(以下「TT」)それぞれ100人の合計200人で、協力者の年齢は18~23歳である。調査は2017年2月~3月中旬にかけ

てタイのチェンマイとバンコク、および大阪で実施した。DCT 実施に加え、日本語母語話者 47名、タイ語母語話者 65名に断り方の選択に関する意見についてフォローアップインタビューを行った。なお、回答には調査地の方言による影響が存在する可能性があるため、本稿の結果が日本語・タイ語の一般的な傾向であると言えるかどうかについてはさらにデータを増やして検証する必要がある。

3.2 分析方法

分析には意味公式(semantic formulas)を用いる。本研究で用いる意味公式は Beebe, Takahashi and Uliss-Weltz(1990)、伊藤(2009)と李(2013)の意味公式と調査の結果を参考にし、修正を加えたものである。まず DCT に書かれた断り文を、意味機能ごとに分類し、ある意味公式を使用したら 1、使用しなかったら 0 とカウントした。その後、回答者全員に対する意味公式を使用した回答者の人数を百分率で換算して出現率とした。なお、意味公式は{}で表記する。以下は収集された回答例について、意味公式による分析を行った例である。

回答例 1 : ごめん、俺も中間テストがあって、力添えできないかも。

{詫び} {理由の内容} {結論}

回答例 2 : ເອົາ ມີງານຕອນທີ່ໄມ້ວ່າງຕລອດ ມຶງກໍທຳເອງດີ

{否定的反応} {非難} {行動指示}

(和訳 : {否定的反応} あ、忙しい時に、いつも頼みに来るよね。自分でやれ!)

本研究で用いる意味公式は表 1 の通りである。表中の回答例は日本語とタイ語の両方で同じ意味の回答があったものを併記したものである。ただ、⑪{冗談}はタイ語でしか回答がなかったため、それに対応する日本語訳を括弧で付している。場面ごとに JJ と TT が用いる意味公式の出現率の有意差、および各言語での親疎による出現率の有意差について、カイ二乗検定を行う。有意差が見られた場合は、どの意味公式の出現率に有意差が見られるかを検証するために、残差分析を行う。

表 1 本研究で用いる意味公式

意味公式	意味機能	回答例
①結論	依頼に応じるのが不可能であることを示す。	無理だよ/きついわ/難しいかも/できへんわ(できないよ) ຈົງຈ້າຍໄມ້ໄດ້ວ່ອນ/ໄມ້ໄດ້ຫວະ/ຫ້າຍໄມ້ໄດ້ຈິງງາ
②行動指示	依頼に応じず、被依頼者が依頼者に自分で行動するように言う。	自分で頑張ってね/自分でやろ/自分でやってくれ ມື່ງທ່າເອງດີ/ທ່າເອງລະກັນນະ/ລອງທ່າເອງດູນນະ
③詫び	相手の意向に沿えないことに謝りの気持ちを表す。	すみません/ほんまにすまん/ごめん/ごめんなさい/悪いな ຂອໂທ່ານະ/ຂອໂທ່າວ້າຍ/ໄທ່າທີ່ຫວະ/ໄທ່ານະມຶງ/ຊອວ່າ
④理由	相手の意向に沿えない理由を説明する。	
a) 理由の内容 ³	相手の意向に沿えない理由の内容だけ述べる。	俺は中間テストがあるので ອາທິດຍ້ານ້າມີສອບອະ
b) 理由の内容+説明	理由の内容に加えて、その理由に関する説明も述べる。	俺もテストがあって、よくテスト勉強しないと死にそう。 ອາທິດຍ້ານ້າມີສອບອະ ຄ້າໄມ່ຄ່ານແນ່ງໆ

⑤積極的代案提示	依頼に応じず、被依頼者が問題解決の方法として自分から積極的な働きかけを提案する。	(私が)別の人聞いてみるね / 手伝えそうな人を紹介するね เดี่ยวๆ ตามคนอื่นให้หนะ / เดี่ยวเราแนะนำเพื่อนก็ให้หนะ
⑥消極的代案提示	依頼に応じず、被依頼者が自分以外の人に依頼するように提案する。	別の人当たってみて / ほかの人に頼んでくれる? ไปตามคนอื่นแล้วกันนะ / ไปตามคนอื่นได้ป่าว
⑦条件提示	依頼を引き受けることのできる条件を提示する。	チェックならできるけど/ 分からないことがあれば、言ってください แปลลงก่อน เดี่ยวเราช่วยครัวให้ได้นะ / ไม่เข้าใจตรงไหน ถามได้นะ
⑧約束	次回協力することを述べる。	また今度時間があれば、できる限り協力するね ถ้ามีโอกาส ไว้ครั้งหน้าจะกลับกันนะ
⑨否定的反応	依頼に返答する前に、断り発話を予想させるような反応をする。	
a) 間投詞	間投詞で否定的な反応をする。	ちょっとー / うーん / あのー / んー / ああ / えー เอ่อ... / อืม... / เอ๊บ... / คือ...
b) 呼びかけ ⁴	呼びかけの間投詞または呼称詞で否定的な反応をする。 *TTのみ*	呼びかけの間投詞の例 : เชย/เหย (həw)
		呼称詞の例 : มึง/แก/เชอ (mɛŋ/ kee/ theo) [二人称代名詞]
⑩理解	相手の話を理解したことを示す。	そうか อ่อ/ งั้นเหรอ / เหรอเมิง / เหรออะ
⑪驚き	驚きの感情を表す。	へえ หา / ຈົງດີ / ອ່າວຈົງດີ / ໂທ
⑫情報確認	相手が言ったことを確認する。	来週? อาทิตຍ້หน້າຫຣອ
⑬共感	相手の意向に添いたい心情を表明する。	協力したいけど / 手伝いたいんだけど ก็อยากช่วยนะแต่....
⑭冗談	相手をからかう。 *TTのみ*	เจริญกันดองໃຫນ ล้อเล่น (知り合いだったっけ？冗談！) พากໄປເລື່ອງຂ້າວດ້ວຍ (俺にご飯をおごってね。)
⑮励まし	相手を励ます。 *JJのみ*	お互いに頑張ろう / 頑張ってね
⑯非難	相手を非難する。	3,4枚は人に頼む量じゃないよ！ 3,4หน้าเยอะໄປนะ

4. 談話完成テストの分析結果

本節では、親と疎の同等からの重い依頼に対する断りの場面において、JJ と TT が用いた意味公式の出現率の場面ごとの比較、および各言語での親疎による比較を行う。

4.1 各場面における JJ と TT の意味公式の出現率の比較

4.1.1 親しい同等からの重い依頼の場面

図 1 は親しい同等からの重い依頼を断る場合に、JJ と TT が用いた意味公式の出現率を比較するものである。

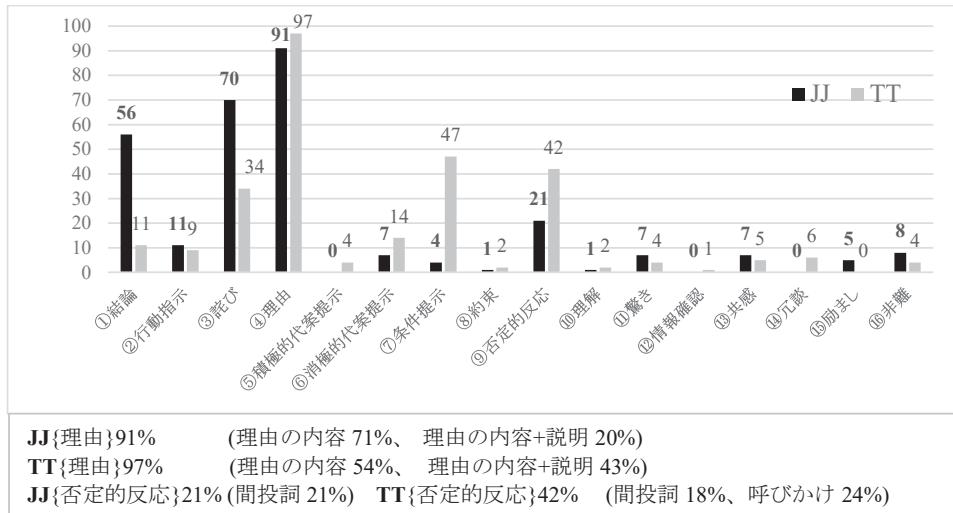


図 1 親しい同等からの依頼：JJ・TT の比較

JJとTTの間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した。なお、{理由}については{理由の内容}と{理由の内容+説明}に分けて検定した。その結果、有意差が見られた($\chi^2(14)=113.79, p<0.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは{結論}(Z=3.66)、{詫び}(Z=3.66)、{理由の内容}(Z=2.42)、{理由の内容+説明}(Z=3.25)、{条件提示}(Z=6.47)、{否定的反応}(Z=2.98)、{冗談}(Z=2.51)、{励まし}(Z=2.11)である。

JJとTTの意味公式使用の相違点を以下の7点にまとめた。

- (1)JJは{結論}を多用している(56%)が、TTはほとんど使用しない(11%)。
 例① ごめん、俺も中間テストがあって、力添えできないかも。
 例② ພອດວິນາທິຕົບໜ້າມີສອນ ຄົງຫ້ວຍໄມ່ໄດ້ ແຕ່ຫ້ວຍຕຽວຈຳໃໝ່ໄດ້ນະ ຂອໂທກທີ່
 (和訳：来週に試験があって、(翻訳の)手伝いはできないかも。でも、チェックなら、できるよ。ごめんね。)

(2)JJは{詫び}の出現率が高い(70%)が、TTにおける出現率はJJの約半数である(34%)。

(3)JJとTTはいずれも{理由}の出現率が高い。しかし、詳細を見ると、JJは{理由の内容+説明}(20%)と比べて{理由の内容}(71%)の出現率が大幅に高く、一方、TTは{理由の内容}が54%、{理由の内容+説明}が43%と両者で大差がない。さらに、説明の内容について、JJは「テストがある」という理由の内容に加えて、「時間が無い」のように時間的に都合が悪いという説明をすることが多い。しかし、TTは「まだ試験勉強を始めていない」「点数が悪かったら困る」「読む内容が多くて、急がないと間に合わない」のように、心理的負担を強調する特徴がある。

- 例③ 本当にごめんやけど、私、来週厳しめの中間テストがあって、時間的に余裕がないくて、手伝えそうにない！！ごめんよ！

例④ อาทิตย์หน้ามีสอบ ยังไม่ได้อ่านเลย มีงลองแปลเองก่อน แล้วเดี่ยวกฎเช็คให้

(和訳：来週に試験がある。まだ試験勉強を始めていないんだ。

とりあえず、自分で翻訳してみて。後で私がチェックしてあげる。)

例⑤ เอ่อ กฎมีสอบกลางภาคเหมือนกันนะ ถ้าคะแนนไม่ดีนี่ปุ่งเลย ไทยที่นี่นะ มีงทำเองละกัน

(和訳：{否定的反応：間投詞} エօ、試験があるんだ。点数が悪かったら困るよ。

悪いけど、自分で頑張ってね。)

例⑥ ขอโทษนะมึง กฎมีสอบอาทิตย์หน้า ต้องอ่านหนังสือ มันเยอะมาก กลัวอ่านไม่ทัน

(和訳：ごめん。来週試験があつて、試験勉強しないといけないんだ。

読む内容が多くて、急がないと間に合わないから、それが心配で。)

(4) JJ は{条件提示}(4%)をほとんど使用しないのに対して、半分近くの TT(47%)は使用している。回答例を見ると、TT は「翻訳の枚数を交渉する」「翻訳したものチェックする」「翻訳ができないところを教える」「電子辞書を貸す」といった、自分が手伝える様々な方法を提示している。

例⑦ 私もテストあって、できないかも。チェックならできるけど。

例⑧ หา อาทิตย์หน้าต้องสอบแล้ว งั้นกุช่วยแปล 2 บรรทัดละกัน

(和訳：{驚き} hää、私、来週試験があるんだ。じゃあ、内容を2行翻訳してあげるね。)

例⑨ มีง กูเกิลทรานสเลทมี ก็อยันเข้าไปปิด อันไหนแปลกรๆ เดี่ยวกฎช่วยดุให้

(和訳：(否定的反応：呼びかけ) maa、google translateもあるよ。使ってみなよ。
おかしい言葉が出たら、俺がチェックしてあげる。)

例⑩ ไทยที่วะมึง กฎมีสอบเหมือนกัน บุ่งมาก เดี่ยวกฎให้ยืม thołekking díkla gán

(和訳：ごめん。俺も試験があつて、とても忙しい。じゃあ、電子辞書を貸してあげるね。)

(5) TT は{否定的反応}の出現率が 42%であるが、JJ における出現率は TT の約半数である(21%)。

(6) TT は{冗談}(6%)を言う特徴がある。「翻訳の枚数を交渉する」{条件提示}の後に、「ご飯や酒をおごってほしい」という冗談が見られる。しかし、JJ には見られなかった。

例⑪ เอօ กฎมีสอบอาทิตย์หน้า งั้นช่วยแปลซัก1หน้าก็ได้ แปลเสร็จแล้วกุด้วย

(和訳：{否定的反応：間投詞} エօ、俺は試験があつて、試験勉強するんだ。

でも、1ページぐらいならしてあげる。終わったら、お酒をおごってくれ。)

例⑫ ช่วงนี้กฎไม่ค่อยว่าง มีสอบอาทิตย์หน้าเหมือนกัน ขอแปลหน้าเดียวละกันนะ เลี้ยงข้าวกฎด้วย

(和訳：今はちょっと忙しい。僕も来週試験があるんだ。1ページなら翻訳してあげるね。終わったら、ご飯をおごってくれ。)

(7) 発話を終える前に、JJ は{励まし}(5%)を言う特徴がある。しかし、TT には見られなかった。

例⑬ ああ、私も中間テストがあるから、手伝えないわ。一緒に頑張ろう！

4.1.2 親しくない同等からの重い依頼の場面

続いて、図2は親しくない同等からの重い依頼を断る場合のJJとTTの出現率の比較である。

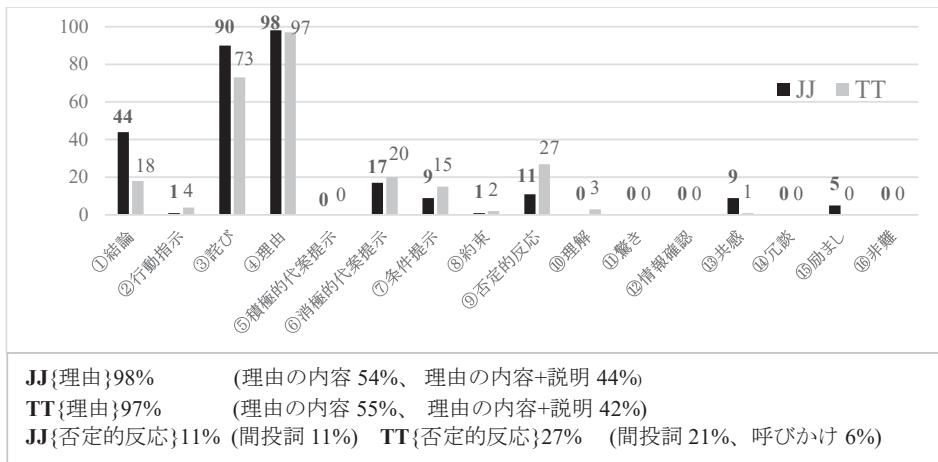


図2 親しくない同等からの依頼：JJ・TTの比較

JJとTTの間に意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi^2(14)=39.77, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは{結論}(Z=3.14)、{励まし}(Z=2.15)である。

JJとTTの意味公式使用の相違点を以下の3点にまとめる。

(1)JJは{結論}の出現率が44%であるのに対して、TTはわずか18%である。

例⑭ すみません、来週テストがあります。協力できそうにないです。

例⑮ エօคីៗ មិនធ្លាប់ដែនកុមិសបំខែល

(和訳：{否定的反応：間投詞} េះ khypey、無理だな。テストがあるから。ごめんね。)

(2)JJ(9%)とTT(15%)の{条件提示}の出現率を比較してみると、大きな差が見られなかつた。「相手が翻訳したものチェック」「翻訳について助言する」などの条件を提示するが、TTは親しくない人に電話番号、Line、Facebookのような個人の連絡先を教えるところまで、協力できる限りの協力の方法を提案することが見られるのに対して、JJはこのような提案の方法は全く見られなかった。

例⑯ ごめんなさい。来週テストがあるので、手伝う時間がなさそうです。

もし何かできなかつたことがあつたら、言ってください。

例⑰ ເចັກຂອງໄທແນະ ច່ວງນີ້ເຄົ້າໄມ້ຄ່ອຍວ່າງເລຍ ລອງແປລ່ອງກ່ອນ ຕ້າໄມ້ໄດ້ ສັງໄລ່ນິ້ງໄວ້ ເດືອຍເຄົຈະຕອບປິປະນະ

(和訳：ごめん、余裕があまりないんだ。とりあえず、自分でやってみて。

翻訳ができないところがあれば、Lineでメッセージを送ってくれる？

余裕があつたら、後で答えてあげるよ。)

(3){励まし}(5%)で発話を終わらせることがJJの特徴である。

例⑲ 私もテストが迫って、勉強しなくちゃいけないのよ。互いに頑張ろう！

4.2 各言語での親疎関係による意味公式の出現率の比較

4.2.1 日本語母語話者の場合

次に親しい同等と親しくない同等の場面の意味公式の出現率を比較する。図3にJJの結果を示す。

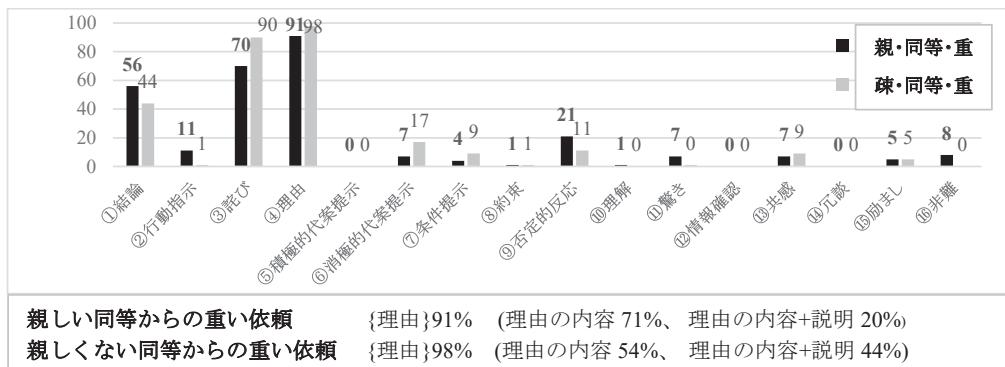


図3 日本語母語話者：親疎関係による意味公式の出現率の比較

JJの場合、親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi^2(13)=46.53, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは{行動指示} ($Z=2.89$)と{非難} ($Z=2.83$)である。

(1){行動指示}は親しい同等の場面では1割(11%)であるのに対して、親しくない同等の場面では1%しか出現していない。

例⑩(親) すんません、俺はテスト勉強したい。自分の課題は自分でやろ！

(2){非難}は親しい同等の場面では約1割(8%)であるのに対して、親しくない同等の場面では全く見られなかった。

例⑩(親) テストがあるので、自分でやって。分量的にも人に頼める量じゃないやろ。
それ時給発生するよ。

4.2.2 タイ語母語話者の場合

続いて、図4にTTの結果を示す。

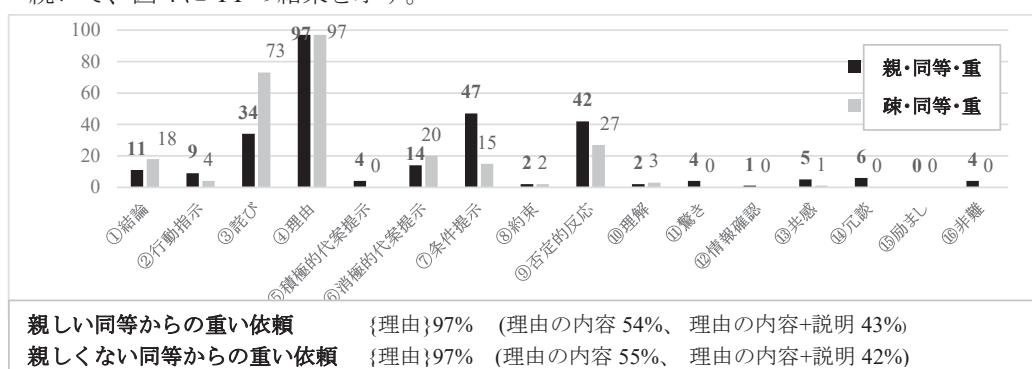


図4 タイ語母語話者：親疎関係による意味公式の出現率の比較

TTの場合、親疎関係によって意味公式の出現率に有意差があるかどうかカイ二乗検定を用いて検定した結果、有意差が見られた($\chi^2(14)=55.25, p<.05$)。残差分析を行ったところ、有意差が見られたのは{詫び} ($Z=4.64$)と{条件提示} ($Z=4.01$)である。

(1){詫び}は親しい同等(34%)より親しくない同等(73%)のほうが出現率が高く、39ポイントの差が見られる。

例②(疎) ເຮັດວຽກ ເຮັດໄມ່ວ່າງເລຍ ອາທິດຍໍ່ຫັນເຮັດມີສອບວະ ຂອໂທຊຈິງໆ

(和訳：ごめんなさい、全然余裕がない。来週テストがあるんだ。本当にごめん。)

(2){条件提示}は親しい同等のほうが親しくない同等より出現率が高い傾向が見られる。

{条件提示}の内容を見ると「翻訳の枚数を交渉する」「翻訳したものチェックする」「助言」などの様々な方法のバリエーションが見られる。

例②(親) ຫາ ອາທິດຍໍ່ຫັນທີ່ຕ້ອງສອບແລ້ວ ກັ້ນກູ້ຂ່າຍແປລ 2 ບຣັດລະກັນ

和訳：{驚き}hää、私、来週試験があるんだ。じゃあ、内容を2行翻訳してあげるね。)

例②(親) គື່ອ... ຖຸຕ້ອງອ່ານຫັນສື່ອສອບຫວະ ກັ້ນລອງແປລເອງກ່ອນ ຕຽງໄໝໃນໄດ້ເຈີ້ວກຸບອກມື່ງ

(和訳：{否定的反応：間投詞}khພພ...、試験勉強するんだ。自分で翻訳してみて、できない部分があったら、俺が教える。)

5. 結果の考察とまとめ

前節でのDCTのデータの分析結果について、フォローアップインタビューの結果を踏まえて、JJとTTの意味公式の使用における相違点を考察する。

(1)JJは{結論}を多く使用する傾向が見られたのに対して、TTはそれほど多くなかつた。日本人が直接的断りを多用するという点については、成田・成田(2010)と同様の結果が見られた。フォローアップインタビューにおいて、JJは「断りの時、誤解されないように、手伝えるかどうかについての{結論}をはっきり言うことは重要である。誤解されてしまった場合、将来の信頼関係に強い影響を与える」、一方でTTは「直接的断りは相手の気持ちを傷つけてしまう言い方である」という考え方を述べており、JJとTTの断りに対する考え方の違いが意味公式の選択に影響を与えているのではないかと考えられる。

(2)JJは{詫び}を多く使用している一方、TTは親疎関係によって出現率が異なり、親しい人よりも親しくない人に対して詫びを多く使用していた。JJの意見では「{詫び}を用いるのは相手との良好な関係を維持したり、相手の気持ちを配慮したりするため」であるが、TTの意見では「{詫び}を述べることによって距離を感じる」とするものが目立った。

(3)両言語とも{理由}の出現率が最も高いという共通点がある。しかし、詳細を見ると、JJは時間的に都合が悪いという説明が多く、TTは心理的負担を強調する特徴がある。

(4)JJは{条件提示}をほとんど使用しないのに対して、TTは親しい人に対しては使用する傾向が見られた。JJの意見では、「頼みごととは相手に迷惑をかけ、負担を感じさせる行為である。友達は、いつも互いに助け合う関係にあるわけではない。自分のことなら、できる限り自分でやるべきである」という意見が多かった。しかし、TTにおいては、「互

いに助け合うのは当たり前のことである。友達を手伝わないと、思いやりがないと言われたり、怒られたりする恐れがある」という意見が多かった。

(5) TTは{冗談}を言う特徴があり、「ごはんをおごってほしい」という冗談が多く見られた。TTの意見の中には、「友達だから互いに助け合うのは当然のことである。しかし、翻訳のような重い依頼は、自分の時間と労力を割かなければならぬ作業である。無料で手伝ってあげるのは大変だが、思いやりはお金で買うものではないので、友達に時給を要求するのはよくないことだと思う。そこで、時給の代わりに、ご飯やお酒をおごってもらいたいということを伝える。ただ、本当におごってもらいたいというわけではなく、おごってもらったら、ありがたく感じる程度だ」とするものもあった。

(6){励まし}はJJにしか見られなかった。「互いに頑張ろう」「一緒に頑張りましょう」などの言語形式を見ると、動詞の意向形の前に「お互いに」「一緒に」が付加されており、困った状況に陥っている人は依頼者のみでなく、被依頼者も同じような状況下に置かれていることを伝えようとしていると考えられる。

以上のJJとTTの相違点から、考え方や文化の違いにより、両言語の話者が接触する際には、双方の誤解を招く恐れがあると考えられる。日本語の授業でタイ語を母語とする学習者に会話を指導する際には、本研究で得られた知見を利用して日本語母語話者が実際に使う様々な断り方の説明を追加し、同じ場面でもタイ語母語話者と日本語母語話者の断り方が違うということを学習者に意識させれば、日本語母語話者の考え方や文化の違いなどを理解することができ、異文化間コミュニケーションにおける誤解や摩擦が減ることにつながると思われる。

本稿では同等からの重い依頼を中心に、日本語母語話者とタイ語母語話者が用いる意味公式の違いを分析したが、場面が限られているので、意味公式の分析としては不十分な点もある。今後は、他の場面についても分析し、さらに複数の意味公式の組み合わせがどのようにJJとTTで出現するかについても明らかにしたい。

参考文献

- 石井敏(1997)『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書
 伊藤恵美子(2009)「断り表現を構成する発話の順序—ジャワ語・インドネシア語・マレーシア語・タイ語を勧誘場面で比較して—」『異文化コミュニケーション研究』21,185-208.
 グエンイエンティハイ(2012)「依頼に対する断り談話：日本語母語話者とベトナム語母語話者との比較」『言語・地域文化研究』18, 181-192.
 成田昌子・成田高宏(2010)「「申し出の断り」表現における日本語・タイ語母語話者、およびタイ人日本語学習者の意味公式使用の相違」『小出記念日本語教育研究会』18, 23-39
 ネウストプニー、J・V(1991)『新しい日本語教育のために』大修館書店
 堀江、インカピロム・プリヤー(1995)「依頼表現の対照研究—タイ語の依頼表現—」『日本語学』10月号、76-83.
 李海燕(2013)『「断り」表現の日中対照研究』東北大学国際文化研究科博士論文
 ルンティーラ、ワンウィモン(2004)「タイ人日本語学習者の『提案に対する断り』表現における語用論的転移：タイ語と日本語の発話パターンの比較から」『日本語教育』121,46-55.

- Beebe, L. M., Takahashi, T., and Uliss-Weltz, R. (1990). Pragmatic Transfer in ESL Refusals. IN: Scarcella, R. C., Andersen E. S., and Krashen S.D. (Eds.), *Developing Communicative Competence in a Second Language* (pp.55–73). Rowley, MA: Newbury House Publishers.
- Brown, P., and S.C. Levinson. (1987). *Politeness: Some Universals in language usage*. Cambridge : Cambridge University Press.

1 日本語母語話者100名の性別の内訳は、大阪大学の大学生(男女それぞれ50名)である。すべてタイ語を専攻としない学生である。

2 タイ語母語話者100名の性別の内訳は、チェンマイ大学の大学生(男女それぞれ25名、合計50名)とラジャマンガラ・ラタナコーン技術大学の大学生(男女それぞれ25名、合計50名)。すべて日本語を専攻としない学生である。

3 先行研究では{理由}を{理由の内容}{理由の内容+説明}に分けていないが、本研究の結果では、日本語母語話者とタイ語母語話者は理由説明の述べ方が異なるため、2つに分けた。日本語母語話者は理由を簡潔に説明する特徴が見られるのに対して、タイ語母語話者は理由の内容に関わらず、その理由に関して詳しく説明する傾向がある。このような理由説明の述べ方を明確に区別するために、理由を{理由の内容}と{理由の内容+説明}に分けた。

4 「呼びかけ」は断りの際、依頼に応じられないことに対する残念な気持ちを表し、これから断りを言うサインを伝える機能を果たしている否定的反応の一種類である。「呼びかけの間投詞」と「呼称詞」の2種類に分けた。「呼びかけの間投詞」ເຊີຍ/ເຫັນ(háoi)は、人が来るように呼びかける時に、けんかを売る時、断りなどの様々な場面に使われる。人が来るように呼びかける時、喧嘩を売る時、高くて短い声で相手を呼ぶ。断りの時に、甘えるような声で相手を呼ぶ。同等に対して、使うことが多い。例：ເຊີຍ ໂທຍທີ່ຫວະ ອາທິດຢືນໜ້າມສອນກລາງກາຄພອດີ(和訳：(呼びかけの間投詞)háoi、ごめん。俺も来週に試験あるんだ。) 次に、「呼称詞」は 相手の職業や、二人称代名詞や、蔑称語である。発話時に、相手の社会的地位、職業などの上下関係や、対等関係や、親疎関係によって、言葉を使分ける。断りの際、低くて長い声を伸ばし、甘えるような声で相手を呼ぶ。例：ມື້ນ ຖໍ່ມ່ວງ ສັນແປລຄົ່ງໜ້າລະກັນນະ (和訳：(親しい同等に対する二人称代名詞の呼称詞) mun、暇がないよ。じゃあ、1ページの半分翻訳するね。)